

研究課題名	多系統萎縮症の睡眠時ブラキシズムと睡眠障害に関する研究
本研究の目的	多系統萎縮症における睡眠時ブラキシズム(SB; 睡眠中に発生するリズムカルな歯ぎしりや持続的な噛みしめなどの下顎の不随意運動)の発生状況や頻度を分析し、睡眠障害との関連を明らかにする
研究期間	研究機関の長の許可日 ~ 2024年03月31日
調査データ該当期間	■前向き収集期間:研究機関の長の許可日 ~ 2023年09月30日
研究の方法	<p>●対象 ①かつ②の患者</p> <p>① 多系統萎縮症患者と神経疾患がなく年齢・性別をマッチさせた PSG 結果から睡眠時無呼吸症候群と診断された患者</p> <p>② PSG 検査を受ける 20 歳以上の患者</p> <p>● 除外基準 多系統萎縮症以外の神経疾患の既往のある患者</p>
外部への 試料・情報の提供	福岡大学摂食嚥下センター 梅本 丈二に対して当院にて提供
研究組織	福岡大学摂食嚥下センター 准教授 梅本 丈二 国立大牟田病院 脳神経内科 医長 荒畑 創
お問い合わせ先	<p>電話番号 :0944-58-1122(代表)</p> <p>研究責任者 :荒畑 創(脳神経内科)</p> <p>対応可能時間:平日 9:00~16:30</p>